

## PFAS 担当分野

分野	通し No.	エンドポイント (括弧内は文献数)	ご担当委員
ヒトにおける影響	3-22	免疫 (母体ばく露を含む) (20)	■■■■■ ■■■■■ ■■■■■ ■■■■■
	23-62	生殖・発生(40)、	■■■■■ ■■■■■ ■■■■■
	1-2, 63-66, 67-100, 101-105, 139-142	神経(2)、心血管(4)、代謝(34)、腎臓(5)、リスク評価(4)	■■■■■ ■■■■■
	106-125, 126-136, 137-138	内分泌(20)、発がん性(11)、その他(2)	■■■■■ ■■■■■
実験動物等における影響	18-42	生殖・発生(25)	■■■■■ ■■■■■
	7-17, 44-61	免疫(11)、代謝(18)	■■■■■ ■■■■■
	1-6, 43, 62-63, 64-71, 85	神経(6)、心血管(1)、腎臓(2)、内分泌(8)、その他(1)	■■■■■ ■■■■■
	72-77, 78-84	発がん性(6)、遺伝毒性(7)	■■■■■ ■■■■■
体内動態	1-22	体内動態(22)	■■■■■ ■■■■■
ばく露	1-20	バイオモニタリング等(20)	■■■■■ ■■■■■ ■■■■■

※ヒトにおける影響の免疫：

EPA、EFSA 等、最新の海外の評価機関が評価値算出のエンドポイントとしていることから、以下のとおり、多くの専門委員/参考人に文献のご確認をいただきたいと考えております。

- ・ ■■■■■：ご担当の生殖・発生に加え、免疫の文献にも可能な限りご確認いただきたい。
- ・ ■■■■■：疫学全体のオブザーバーとして全体のご議論に参加いただくほか、特に免疫の文献についてご確認いただきたい。

※実験動物等における影響の遺伝毒性、発がん性：

■■■■■には特に発がん性の知見の確認をお願いしたいと考えております。